

呼吸障害を持つ子ども達への小児呼吸理学療法

**～ イントロダクション ～
生活の中で呼吸ケアを広げる**

**ていんさぐの会 副会長 酒井 洋
(株式会社 歩 理学療法士)**

ある医師の問い・・・

**小児の理学療法士が、呼吸リハに
積極的に関わりにくいのはなぜか？**

どうすれば・・・

仮説 1 : 呼吸理学療法が複雑

1. 類似のアプローチ方法が多様

呼吸リハ	包括的呼吸リハビリテーションの範囲が広い
呼吸療法	主に人工呼吸や術後の呼吸管理、機器の管理
呼吸理学療法	呼吸障害の予防と治療
呼吸ケア	(広義) 医療、看護、介護、社会的な包括的支援

2. 実施者 (職種) が多様

医師	看護師	理学療法士	作業療法士	臨床工学技士	その他
----	-----	-------	-------	--------	-----

3. 対象年齢・病態が多様

小児	急性期から在宅まで多様な病態
成人	閉塞性、拘束性
高齢者	易感染性

包括的呼吸リハビリテーション

(重症児者の摂食・嚥下・呼吸リハビリテーション 2014年より 一部改変)

療 法	手 技
薬物療法	気管支拡張剤、喀痰融解剤など
吸入療法	
酸素療法	在宅酸素療法など
運動療法	全身運動、持久力訓練
呼吸理学療法	呼吸訓練、胸郭可動域訓練、気道内分泌物除去、ポジショニング
人工呼吸療法	NIV(非侵襲的陽圧換気療法)、TIV(気管切開等での陽圧呼吸)
教育	吸引、吸入、人工呼吸器の取り扱い指導など
栄養療法	低炭水化物食など

呼吸ケアとは（日本呼吸ケア・リハビリテーション学会）

◆狭義の呼吸ケア

- 主に急性期（救急、救命）・集中治療（ICU・IRCU)における人工呼吸管理を行い、集学的な知識と技術を駆使した亜急性期以降につなぐ診療分野と医療を指します。

この急性期・集中治療においての診療の成否は、以降の亜急性期、慢性期、在宅医療における患者さんの生活の質と予後に影響を与えます。そのためJSRCRの研究・教育分野としても最も重要な分野に位置づけられています。

◆広義の呼吸ケア

- **呼吸関連の疾病・異常に対する予防、急性期から慢性期の治療、さらには在宅医療や社会生活の維持など呼吸に関わるすべての事象に対して包括的な医療・看護・介護・社会的支援の取り組み。**

仮説2：小児呼吸理学療法の対象範囲の広さ

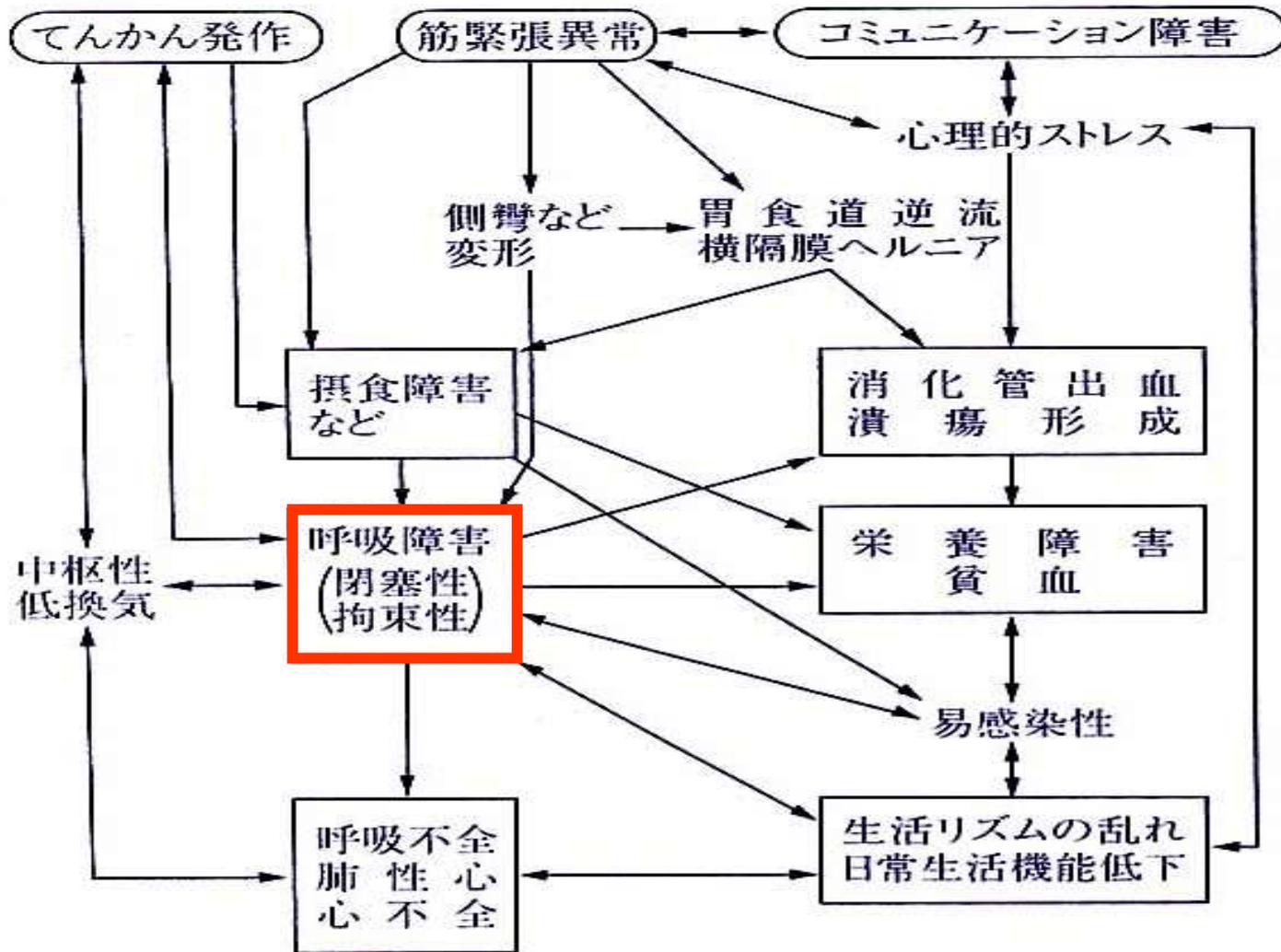
1. 対象分野が多岐にわたる

対象領域	時期	場所	目的	方法
病院	急性期	NICU、PICU	治療、救命	呼吸療法・管理
施設	発達期	入所、外来	機能改善、発達促進	呼吸訓練
生活	維持期	在宅、デイ、学校	健康維持、増悪予防	呼吸ケア

2. 呼吸障害の病態、症状、アプローチが多様

病態	症状	アプローチ
閉塞性	下顎後退、舌根沈下⇒無呼吸	下顎前突、ポジショニング
拘束性	胸郭運動性低下、側弯	リラクゼーション、ROM
中枢性	呼吸停止	人工呼吸
易感染性	痰の増加⇒炎症⇒発熱	日常の各種排痰アプローチ

仮説3：小児の呼吸障害の複雑さ



重症心身障害の主な症状と相互関係
(舟橋満寿子、1998年、一部改変)

その結果・・・

誰がどこで何をやるか



役割分担が不明確

個別性が高い



経験が要求される

研究対象になりにくい



エビデンスが確立されにくい

だから、関わりにくい…？

提案1：日常生活における呼吸ケアを中心に

病院(急性期)⇒施設(発達期)⇒生活(維持期)に伴い、訓練頻度が減少、一方で、生活における呼吸ケアの必要性は増加

需要と供給のアンバランス



供給を確保するために

- 日常生活での呼吸へのアプローチ（呼吸ケア）を、日常的に支援する誰もができる内容にする⇒**提案2**へ
（日常生活支援者：保護者、介護職、保育士、教師等）
- 日常生活の場：家庭、学校、保育施設、デイサービス等
- 日常生活支援者の人材育成を医師、看護師、理学療法士等が担う

提案2：誰もができる！ 日常生活での呼吸ケアトライアングル

胸を広げる・動かす
(胸郭呼吸運動障害
への対応)

⇒ 日常的対応

ポジショニング、リラクゼーション、
胸郭可動域拡大など

気道(のど)を広げる
(上気道狭窄
への対応)

⇒ 一時的対応

下顎前突、腹臥位など

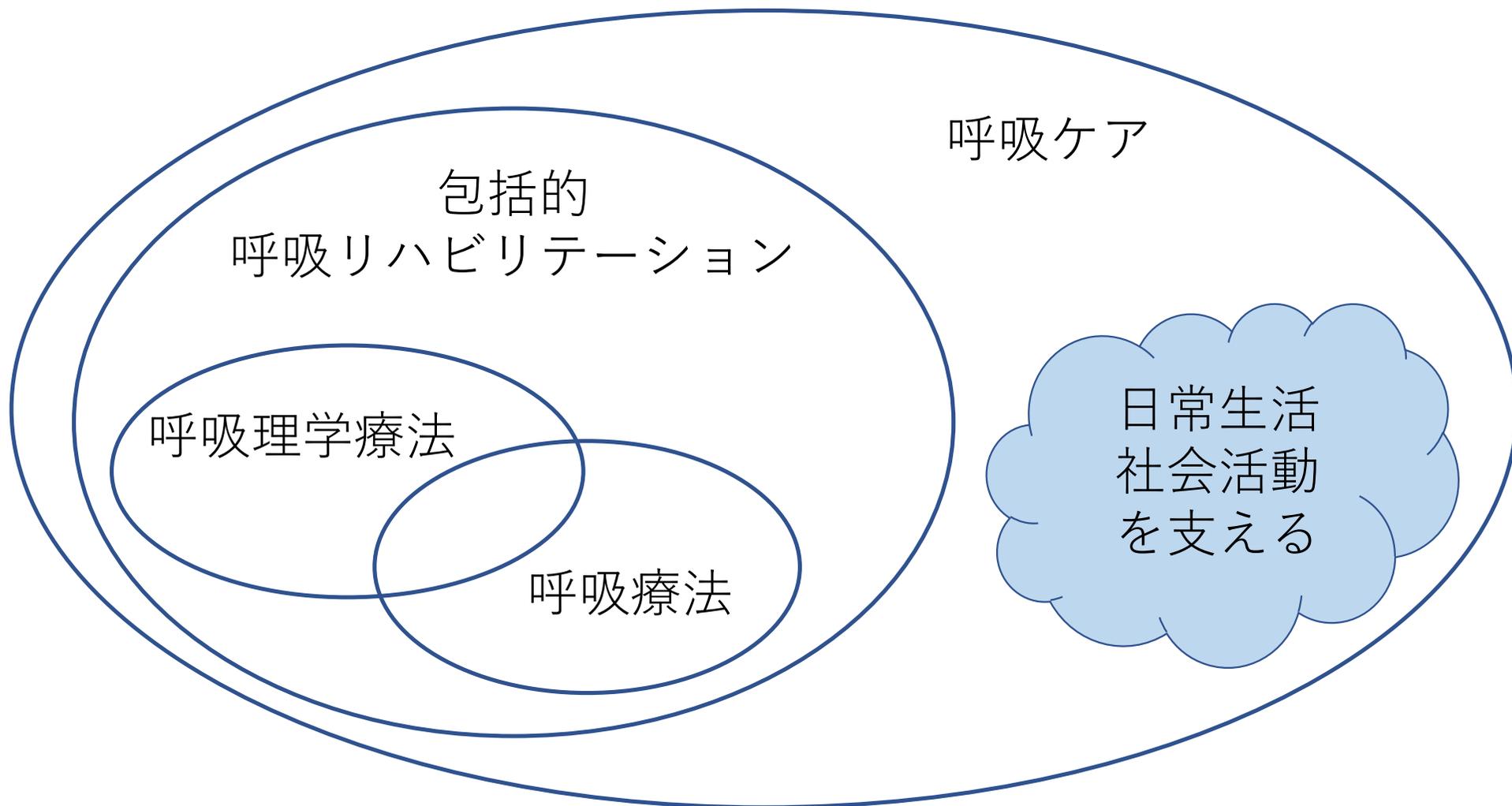
痰が出やすくする
たまりにくくする
(分泌物貯留への対応)

⇒ 痰が多い時の対応

各種排痰手技

(体位ドレナージ、呼吸介助、スクイーピング、
機械的咳介助(MI-E(カフアシスト),MACなど)

まとめ1:呼吸への各アプローチの関係イメージ



まとめ2: 日常生活を支える呼吸ケアモデル



訪問看護師、介護職、教師、
保育士等



看護師、理学療法士、医師等